

クロマチックハーモニカが奏でる
魅惑の世界

山下 伶

ハーモニカ・コンサート

2014年、F. I. H. ハーモニカコンテスト第1位受賞！
クラシック、ポップス、ラテン、映画音楽などジャンルをこえて
“クロマチックハーモニカ”の新たな表現に挑戦する
山下 伶のスペシャルコンサート！

[出演]

山下 伶 (クロマチックハーモニカ)

森丘 ヒロキ (ピアノ)

森田 晃平 (ベース)

[主な予定曲目]

月の光、リベルタンゴ、ひまわり

エル・クンバンチェロ、川の流れるように 他

※予定曲目は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

公演日程(2023年)

11月23日 (木) 2:00p.m. (1:00p.m.開場)

小山市立文化センター

入場料金：¥4,600 [全席指定] (税込)

※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。

お問い合わせ

MIN-ONインフォメーションセンター ☎03(3226)9999

チケットのお求めは

小山市立文化センター ☎0285(22)9552 (9時~17時)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 249-694]

ローソンチケット ・ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード: 73646]

・WEB <https://l-tike.com/>

主催：MIN-ON

共催：小山市立文化センター



夢と可能性が詰まった楽器

“クロマチックハーモニカ”の魅力

ポケットに入るほど小さな楽器、ハーモニカ。

日本では、大正から昭和にかけて、ハーモニカ・バンドの興隆や、音楽教育によってハーモニカが普及されるなど、身近で親しまれる楽器となりました。“ハーモニカ”と聞けば、どこか懐かしく哀愁たどよう音色で癒されるという方も多いでしょう。

山下伶が演奏する「クロマチックハーモニカ」は、「クロマチック (Chromatic = 半音階の)」という名の通り、# (シャープ) や b (フラット) の音を出すことができるのが特徴です。音域は4オクターブを超え、従来のハーモニカよりも広く、64の音を一本で出すことができます。ジャズ、ポップス、タンゴ、演歌、童謡など、小さな一本でどんなジャンルの曲も演奏することができます。とても表現力豊かな楽器です。またハーモニカは吹いたり吸ったりすることで音が出るので、人それぞれ声が違うように、奏者の個性により音色が変わるのも大きな特徴です。

山下伶は、「“クロマチックハーモニカ”は、夢と可能性が詰まった魅力的な楽器」と語っています。今回のステージでは、ピアノ、ベースも加わって、これまでのハーモニカのイメージを一新する機会となるでしょう。



山下 伶 *Rei Yamashita*

Chromatic Harmonica (クロマチックハーモニカ)

埼玉県春日部市出身。横浜市在住。桐朋学園芸術短期大学音楽専攻 (フルート) 卒業。卒業後クロマチックハーモニカの音色に魅せられ、クロマチックハーモニカ奏者の徳永延生氏に師事。

2014年 第34回F.I.H.ハーモニカコンテスト クロマチック・ソロ／クラシック部門1位、ジャズ・ポップス部門1位、アンサンブル小編成部門1位。同大会にて総合グランプリ獲得。2016年7月、ピクチャーエンタテインメントよりアルバム『Beautiful Breath』でメジャーデビュー。今までに5枚のアルバムをリリースし、収録オリジナル曲が、NTV系『news every.』お天気コーナーテーマソングに3度採用される。第6回・第7回 ソウル国際ハーモニカフェスティバルに審査員、ゲストプレイヤーとして参加。アルバム『Candid Colors』が韓国のレーベルSantoki Musicからリリース。出身地、埼玉県春日部市に2019年4月開校した春日部南中学校の校歌、作詞、作曲を担当。ジャズ専門誌 JAZZ JAPAN AWARD 2018制作企画賞受賞。

テレビ朝日系『じゅん散歩』『題名のない音楽会』出演。今までに寺井尚子、藤澤ノリマサ、NAOTO、吉田栄作、クミコ、『銀河鉄道999』シンフォニック・コンサートにて、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。東方神起、林部智史、松本英子、「ファイナルファンタジー III」発売 30周年記念アナログレコード『FINAL FANTASY III-Four Souls-』等のレコーディングに参加。

2023年2月15日、6枚目のアルバム『Good Time Good Music』を日本コロムビアよりリリース。